



二俣川小だより

1月号 横浜市立二俣川小学校 令和5年1月10日



あけましておめでとうございます

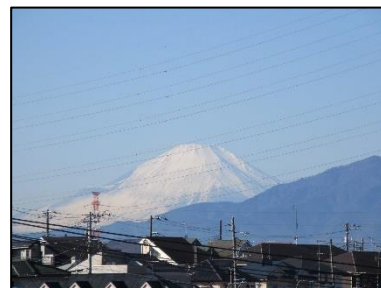
校長 泉 太郎

寒さ厳しい中ではありましたが、横浜は澄み渡る青空のもと令和5年を迎えました。新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、どのような新年を迎えられたでしょうか。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍の中での教育活動もまもなく3年経とうとしています。ワクチン接種など感染症拡大防止の対策が進み、学校においても、子どもたちや教職員が「あいてますか」の取組を徹底してきたことで、教育活動は少しずつ元に戻りつつあります。しかし、

昨年度末は、学校関係者の感染に加え、インフルエンザや風邪症状等で欠席者数が80名を超えるなど、まだまだ予断を許さない状況が続いています。学校としても引き続き感染症拡大防止の対策に取り組んでいきますが、各ご家庭におかれましても、今しばらくお子さんの健康観察にご協力をお願いいたします。

昨年12月10日土曜日、本校校庭で二俣川地区社会福祉協議会主催の「ふれあい餅つき大会」が行われ、和田副校長と共に参加させていただきました。私はまもなく本校に着任し3年を迎えようとしていますが、地域行事もコロナ禍の中、多くのものが中止となり、この餅つき大会が初めての地域行事への参加となりました。3年振りの開催とのことで、どのくらいの人数が集まるのだろうと少し不安な気持ちで会場となる校庭に出ましたが、10時の開始時刻前には、お餅や豚汁を受け取る行列ができていて、子どもたちだけでなく、地域の皆様もこの時



学校から望む雄大な富士

を待ち望んでいたのだなと感じるとともに、地域を大切に作る熱い思いを感じることができました。感染症対策もしっかりととられ、また、本校のジュニアボランティアの子どもたちの活躍の場も設けていただくなど、二俣川地区連合自治会、社会福祉協議会の皆様のご苦勞とご配慮に改めて感謝いたします。



来場者にお餅を渡すジュニアボランティアの子どもたち

冒頭でも触れましたが、令和5年がスタートしました。昨年末最後の朝会で、「一年の計は元旦にあり」と「笑う門には福来たる」の二つのことわざを用いて、一年のスタートとなるお正月に、何か自分で取り組む目標やめあてを立ててみようということと、笑顔を大切にしながら学校生活を送ろうということ子どもたちに話しました。二俣川小学校の素敵なキャッチフレーズにあるように「笑顔いっぱい、友達いっぱい」の学校を子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員でつくっていきたいと思います。今年は創立150周年を迎えます。また、校舎の建替え工事も始まります。二俣川小学校の新たなスタートの1歩を踏み出すこととなります。先の見通せない不安定な状況が続きますが、二俣川小学校の子どもたちのために、学校、家庭、地域が連携していきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします

二俣川小学校 教職員一同